

# 記録をとるメリット

## ➤なぜ記録をとる必要があるの？

本当に指導が効果があったのか確認（証明）する。

- 教員：「指導に対して責任を持つ」
- 児童生徒：「間違った指導を受けないための権利」



指導の効果の答えは、  
子どもが持っているよ  
記録を分析して  
子どもから学ぼう！

## ➤記録をとることのメリット

### ・指導目標が達成できたか客観的に評価できる。

→学習評価の基本。児童生徒にどういった力が身についたか学習の評価を的確に捉えることができる。指導と評価の一体化につながる。

できた？  
できなかった？

### ・具体的な指導目標の設定および見直しができる。

→指導前に記録をとることで、現状の実態把握ができ、具体的な指導目標を設定できる。（課題分析参照）  
→中止基準を決めておくことで、指導目標の見直しができる。

ここでつまづいているのか！  
指導目標や方法を変えてみよう

### ・指導方法の効果が分かる。

→指導の効果の有無を迅速かつ的確に把握できる。  
→効果がある場合、有効な指導方法が分かり、他の場面でも応用できる。  
→効果がない場合、どの過程でつまづいているのか理解しやすく、指導に役立てやすい。

この指導方法は効果有り！  
他の場面でも使ってみよう

### ・教員が毎回同じ指導方法で指導できる。

→教員自身が指導方法を再認識することで、過不足ない適切な支援を行うことができる。  
(毎回やり方を変更することは、毎日薬をかえるようなもの。不必要な支援にも注意。)

まずは、一人でできるか  
どうか声かけせずに待ってみよう

### ・関係する教員、保護者との共通理解ツールとして使用できる。

→困難な時はみんなで励まし合い、できたときは喜び合うことが大切。  
→教員間で同じ指導方法で一貫した支援を行うことができる。  
→共通ツールを使うことで、教員間の協議がスムーズにできる。  
→保護者への説明において、共通理解ツールとしても使用できる。

(関係する教員で記録を見ながら)  
□はできるようになったね。次の支援は..

### ・児童生徒に評価を具体的・視覚的にフィードバックできる。

→具体的、視覚的にフィードバックすることにより、児童生徒がどのように行動すれば良いのか理解できる。  
→児童生徒自身で自己評価することにより、目標を意識して行動することができる。

目標達成まで後○回！  
□がよくなるようになったね

☆記録の継続が重要！簡単で継続しやすい記録方法や記録用紙を使ってみよう！